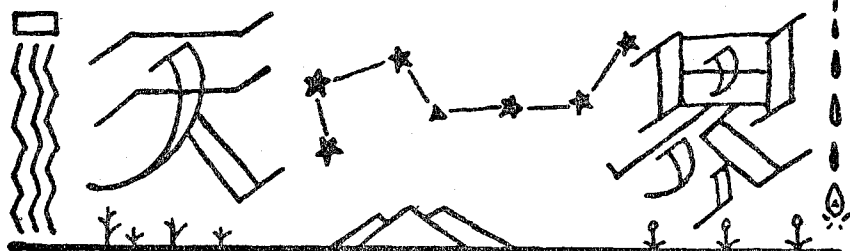


Title	三たび外遊に出づるに臨みて
Author(s)	山本, 一清
Citation	天界 = The heavens (1933), 13(145): 167-167
Issue Date	1933-04-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/162357">http://hdl.handle.net/2433/162357</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher



第百四十五號

(第十三卷)

昭和八年五月

### 三たび外遊に出づるに臨みて

山 本 一 清

去る三月十八日、學術研究會議本邦委員會の席上で圖らずも選ばれ、其の後、同總務部の承認を経て、自分は今春カナダで開かれる第五回汎太平洋學術會議に列席する命令を受けた。會議は六月初日から始まるので、大急ぎで旅装を整へ、五月の初めには是非にも横濱を出帆しなければならない。九月に歸朝するまで、約4ヶ月、祖國を離れることになる。

會議は、約2週間、カナダ領の Victoria と Vancouver とで開かれ、天文や地球學は言ふに及ばず、動植地質其の他多くの部門にわたり、學術上の發表や討議が行はれる筈。

此の會議後、まもなく、米國 Chicago 市では A.A.A.S. の年會が開かれ、又同市には開市百年記念の大博覽會も開かれるわけであるから、是非彼地へも巡遊したいと思ふし、尙ほ、時日に餘裕が有れば、十年ぶりに米國の各地の天文臺や舊友を訪ねたいと思つてゐる。



素空氏畫

歸りは、東廻りにするか、西廻りにするか、詳しくは未定であるが、とにかく、旅中からも、本誌には必ず何等かの通信を寄せたいと思つてゐる。(1933.4.5)